

## 移住希望地ランキング1位！静岡県の「住みやすさ」とは？

2021年3月、静岡県にとって嬉しいニュースがありました。それは、認定NPO法人「ふるさと回帰支援センター」が発表した都道府県別移住希望地ランキングで、静岡県が1位に輝いたことです。みなさんご存知でしたか？

人気の理由は様々だと思いますが、首都圏に近い立地や温暖な気候を気に入って静岡県を選んでくれた方々が多いのではないのでしょうか。立地や気候はもちろんですが、静岡県には住みやすい点がたくさん隠れています。

今回のコラムでは、静岡県に移住希望のある方々でもまだ知らないであろう、「住みやすさに関わる日本一」について紹介していきたいと思います。

### 安心・安全について

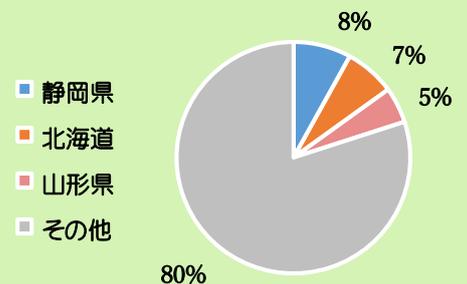
静岡県は青色回転灯を装備した自動車、いわゆる青色防犯パトロール車（青パト）の令和2年における登録数が3,604台で日本一でした。

青色防犯パトロールとは、警察から認定を受けた団体が、地域の防犯のために、青色回転灯装備車両を運転しながら行う防犯パトロールのことです。

青色防犯パトロール車登録数（令和2年12月31日現在）

	1位 静岡県	2位 北海道	3位 山形県	全国
登録数	3,604	3,167	2,310	44,242
全国に占める割合	8%	7%	5%	100%

青パト登録数全国に占める割合  
（令和2年12月31日現在）



単位：台



また、「平成28年社会生活基本調査」によると、過去1年間に「安全な生活のためのボランティア活動」を行った10歳以上の人の割合が、静岡県は8.9%で日本一でした。「安全な生活のためのボランティア活動」とは、防災活動、防犯活動、交通安全運動などのことです。

安全な生活のためのボランティア活動  
行動者率（10歳以上）（平成28年）



社会生活基本調査とは、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ることを目的とした、5年に1度の基幹統計調査です。

このように、静岡県では地域の方々が、積極的に防犯活動に取り組んでいます。お子様をお持ちのご家族も安心して暮らすことができそうです。



社会生活基本調査は本年10月に10回目の調査が行われます。今回も静岡県は1位となるか注目ですね！



## 環境について

人の健康や生態系に有害なおそれがある化学物質の削減量について、平成15年度と平成30年度とを比べた結果、全国では143,913トンが削減されました。そのうち、静岡県の削減量は13,601トンであり、全体の約9%を占め、全国1位の削減量となりました。

化学物質排出削減量（平成15年度及び平成30年度の比較）

	1位 静岡県	2位 愛知県	3位 埼玉県	4位 秋田県	5位 茨城県	全国
削減量	13,601	12,751	9,959	8,478	7,922	143,913
全国に占める割合	9%	9%	7%	6%	6%	100%



化学物質排出削減量(H15年度及びH30年度の比較)

単位：トン/年



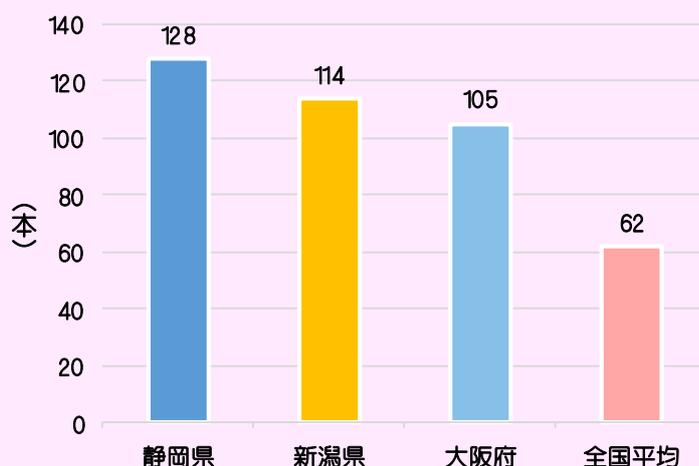
## 行政サービスについて

一般社団法人地方行財政調査会が実施した「市町村への事務移譲の実施状況調べ」によると、静岡県の市町村への事務移譲法律数は128本であり、16年連続日本一です。

県の事務を住民に最も身近な行政主体である市町村に移譲することで、地域の実情を把握している市町村が自らの責任と判断において行政サービスを提供できるようになります。

つまり、住民の立場から見ても、市町村の窓口においてきめ細やかで質の高いサービスを受けることが可能になります。

事務移譲法律件数(令和2年4月1日現在)



いかがでしたでしょうか。今回紹介したこと以外でも、まだまだ静岡県の「住みやすさ」に関わるデータはたくさんあると思います。興味がある方は是非調べてみてください！

出典：静岡県 HP「My しずおか日本一」

警察庁 HP「防犯ボランティア団体の活動状況等について」